

埋め立て処分

ごみの行き着くところ

胆江地区衛生センターで燃やされたごみの焼却灰や、砕かれた燃えないものは、前沢区にある胆江地区最終処分場（エコパークおおぶくろ）に運ばれます。

同処分場は、市と金ケ崎町が総事業費15億1560万円をかけて整備したもので、平成23年3月からごみの埋め立てを開始。1日当たり約28トのごみを受け入れ、15年間利用する計画です。現在までに搬入された焼却灰などは2万2686トと、おおむね計画どおりとなっています。

埋め立てた後も管理が必要

ごみの処理は、埋め立てた後で終わりでありません。ごみの処分場に降った雨は、埋め立てられた焼却灰などの層を通して染み出てきます。そのため同処分場では、

染み出た雨水が周囲の土壌を汚染しないよう、ごみの底になる地面を2重の遮水シートで覆い、一カ所に雨水を集めて処理施設できれいにした上で下水道へ放流しています。ごみの埋め立てのほか、雨水の処理や施設管理の費用として、年間約3600万円が掛かっています。

なくてはならない最終処分場

ごみが最後に行き着く最終処分場は、なくてはならない施設です。しかし、広い埋立地にも限りがあります。運び込まれるごみの量が増えれば、より早くいっぱいになり、次の最終処分場の整備に掛かる負担が増えることになります。当初の計画よりもごみの量を少なくすることができれば、今の処分場を長く使うことができ、次の世代の負担を減らすことにつながるのです。

私たちの負担は？

収集から埋め立て処分までごみの行く先を追いながら、そこに掛かる費用も見えてきました。実際に、26年度の市の負担額を基に計算してみると、市民1人当たりの負担は年間4825円になります。（施設整備の費用は除く。27年3月31日現在の人口12万1659人で計算）

卵1個分の減量を

市は、市民1人1日当たり

市民1人
当たり
4,825 円

現状

市民1人
1日当たり
490 g

目標

市民1人
1日当たり
430 g

ごみ処理の段階	市の負担（26年度）
運搬と収集	208,075,564 円
燃えるごみの焼却	※ 316,634,567 円
燃えないごみの破碎	※ 43,398,270 円
埋め立て処分と管理	※ 18,925,163 円
	合計 587,033,564 円
	市民1人当たり 4,825 円

※本市が奥州金ケ崎行政事務組合に支払っている分担金を、ごみ処理の段階に応じて按分した金額

で、卵1個分の減量に取り組んでみましょう。

ごみも負担も最小限に

ごみの処理では、焼却や破碎の際はもちろん、排気ガスや排水中の有害物質を取り除くための設備を動かすために、石油や電気などのエネルギー資源が使われています。

また、焼却や破碎などごみの量は減るものの、必ず焼却灰や燃えないものは残り、これを埋め立てる最終処分場が必要になります。

このように、どんなに設備や技術が進歩しても、ごみ処理は少なからず自然環境にも負担を掛けてしまうのです。ごみを減らすことは、私たちの費用負担を減らすと同時に、自然環境の負担も減らすことにつながります。

ごみは毎日出るもの。だからこそ、私たち一人一人の取り組みの積み重ねが大切です。あなたが出そうとしているごみ袋の中をもう一度見てください。次の世代に住みよい環境を残せるよう、ごみも負担も少ないまちを目指して――。

埋め立て
処分と管理
3.6千万円のうち
市の負担
年間約1.9※
千万円



トラックで運ばれた焼却灰などは、飛び散らないようにその日のうちに重機で締め固めて埋め立てられます



■胆江地区最終処分場（エコパークおおぶくろ）



※本市が奥州金ケ崎行政事務組合に支払っている分担金を、ごみ処理の段階に応じて按分した金額。

ごみ処理施設を見学して環境のことを考えてみませんか

今回お知らせした、胆江地区衛生センターや最終処分場などを見学してみませんか。間近で見ると、その仕組みや現状に驚かされること間違いなし。ぜひご参加ください。



- 日時 ①8月10日 午前10時～午後3時30分
②9月21日 午前10時～午後2時30分
- 見学場所 胆江地区衛生センター、胆江地区最終処分場、資源物中間処理施設 ※資源物中間処理施設の見学は8月10日 日曜のみ
- 集合場所 みずさわ観光物産センター（Zプラザアテルイ）
- 対象 満18歳以上の市民（高校生を除く）
- 定員 各回とも20人（先着順）
- 参加料 無料
- 服装・持ち物 動きやすい服装で上履き、帽子、昼食を持参
- 申し込み方法 各回の1週間前までに、電話、ファクス、メールもしくは窓口で住所、氏名、年齢、電話番号を伝えて申し込む※定員になり次第受け付け終了
- 問い合わせ・申込先 本庁生活環境課生活衛生係（内線215、FAX⑤2374、✉seikatsu@city.oshu.iwate.jp）

5Rでごみを減らそう

- ▶ **Réfu se**＝断る
マイバックを持参する、過剰包装を避けるなど、ごみになるものを買わない、貰わない。
- ▶ **Redu se**＝減らす
必要なものを必要なだけ買う、詰め替え製品を使う、食べ残しをしないなど、ごみが発生しないようにする。
- ▶ **Reu se**＝再使用する
洗って繰り返し使う、リサイクルショップやフリーマーケットに出すなど、物を大切に長く使う、新たなごみを出さない。
- ▶ **Repai r**＝修理する
壊れても修理・修繕して長く使う。
- ▶ **Recyc le**＝再生利用する
資源物はリサイクルステーションや地域での集団回収などに出す、家庭用コンポストなどで生ごみをたい肥にする、再生品を積極的に利用するなど、資源の再生利用を心掛ける。